

おかやま地域未来共創 プラットフォーム

一般社団法人おかやま地域未来
共創機構(OLIVE)を中核とした
次世代人材育成と完全自走化モデル

産学官金言連携によるダイナミック・ローカルエコシステムの確立

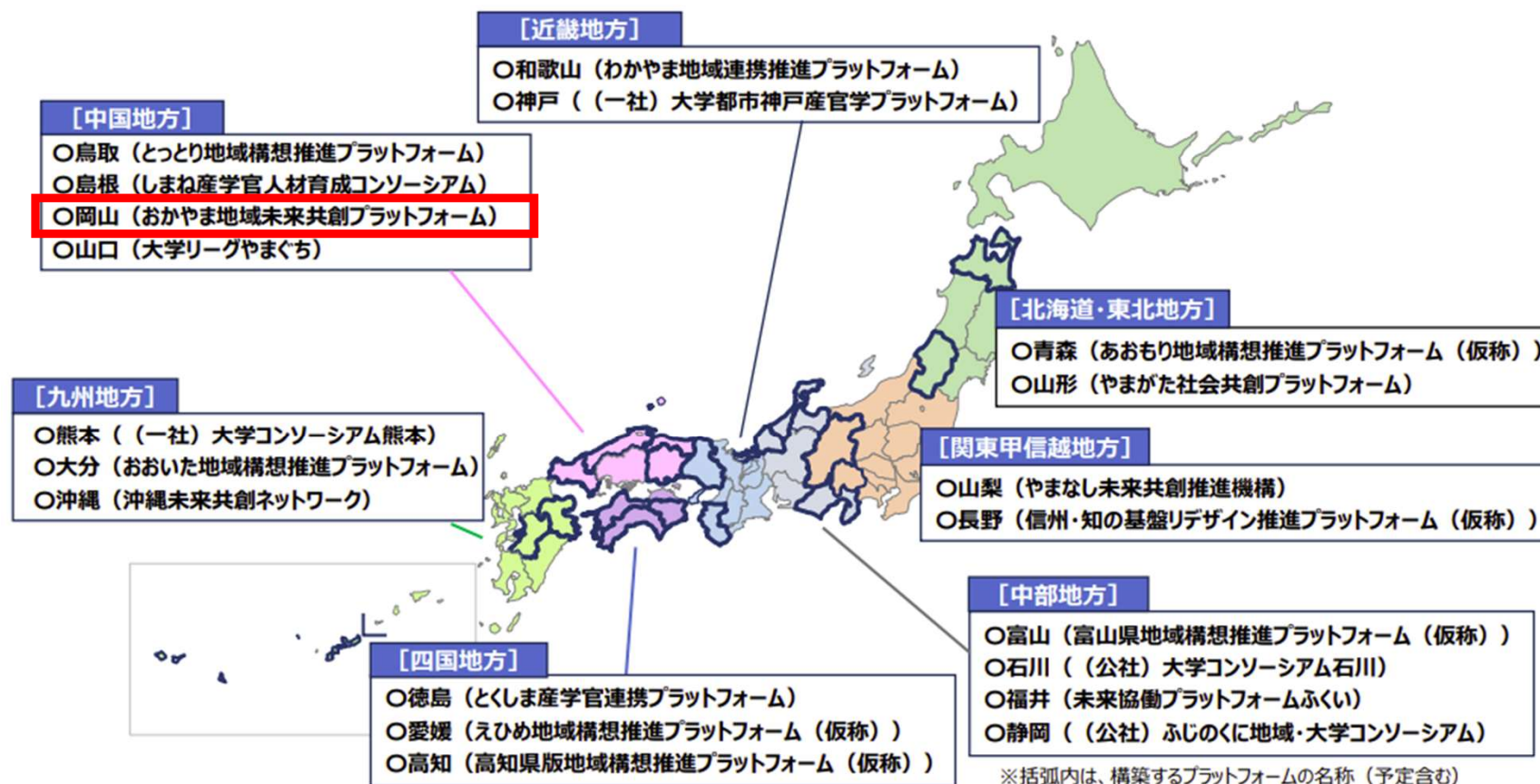
岡山大学 / 文部科学省「地域構想推進プラットフォーム構築等推進事業」



「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業の採択について

別紙 2

- 「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業（7億円（R8新規））には、**37件の申請**。事業選定委員会を経て**20件を採択**。全国展開に向け、**申請・採択の有無に関わらず各地域のPF構築支援に取り組む**。
- 同事業を通じ、2040年の社会を見据え、**知事、学長、地域産業界等の代表者をはじめ地域の産学官が緊密に連携し**、各地域の人材需要や産業界等のニーズを共有しながら、**地域の医療・福祉、産業、インフラ等を支える人材育成方策の協議・実行の取組を促進し**、**高校から大学・大学院等を通じた人材育成システム改革を推進**。



「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業 採択プラットフォームの主な取組

知事と学長をはじめとした地域の産学官金等が連携し、各地域の強みや実情を踏まえた医療・福祉、産業、インフラ等を支える人材の育成、高等教育のアクセス確保方策を協議・実行する取組を支援

【岡山】おかやま地域未来共創プラットフォーム

- ・地域を担う若者である**高校生・大学生、若手起業家・社会人が参画する「おかやま未来創生ユース会議」を整備**するなど、県の課題に対応した実践的なアクションタンクを創設。
- ・**ものづくり・フードテック等重点分野における高度DX・GX・AX人材育成**や、保健・福祉・保育分野の専門高校・専門学校も含め高校・高等教育全体でアドバンス・エッセンシャルワーカーの育成等を推進。

【福井】未来協働プラットフォームふくい

- ・既存PFの取組を基盤として、新たに次世代人材育成部門を整備し、初中段階からの切れ目ない人材育成を強化。
- ・**理系比率の高い学部定員構成を生かし、県内小中高校や地元ものづくり企業等との連携を通じて、地域産業界が求める次世代理系・AI人材の育成基盤を整備。**
- ・県内報道機関等と連携した取組の発信力強化等を通じて、**保護者等が進路形成に関心を持つ機運醸成を図る。**

【熊本】（一社）大学コンソーシアム熊本

- ・（一社）大学コンソーシアム熊本を中核とし、**半導体のみならず、医療や農業等も含め2040年を見据えた持続可能な地域人材基盤の確立**を目指し、地域に必要な人材の育成・実装・定着まで一体的に推進する地域人材循環モデルを確立。

【青森】あおり地域構想推進プラットフォーム（仮称）

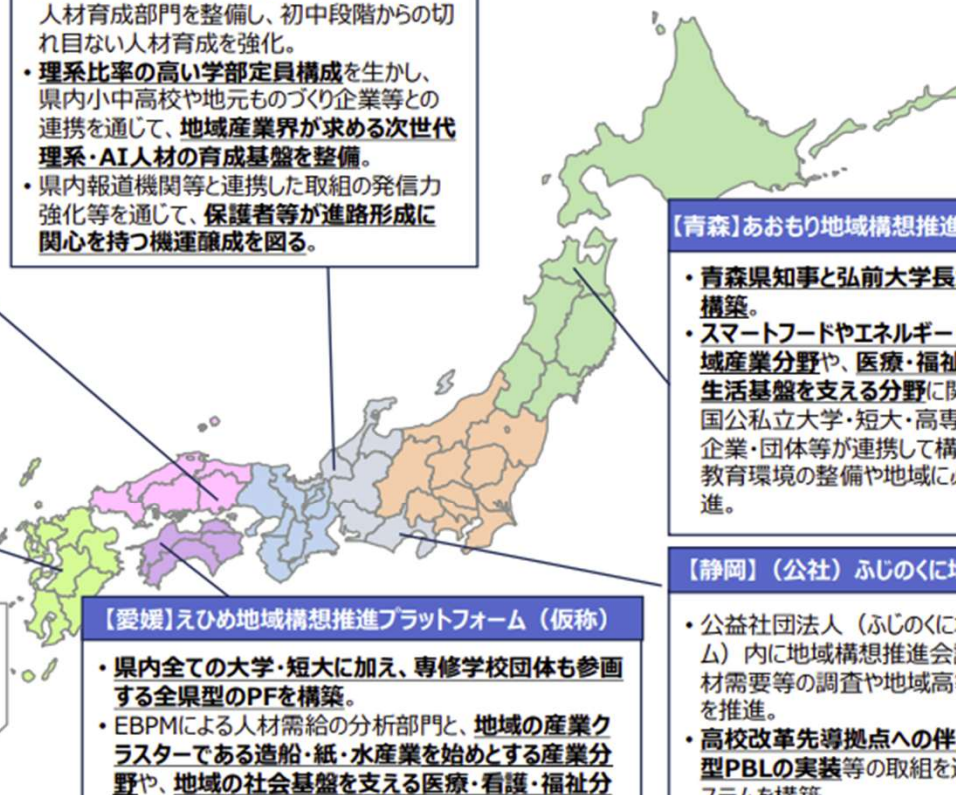
- ・青森県知事と弘前大学長が共同代表となりPFを構築。
- ・**スマートフードやエネルギー・フュージョンなどの地域産業分野や、医療・福祉分野など地域の社会・生活基盤を支える分野に関する部会**を関係する国公立大学・短大・高専、県関係部局、関係企業・団体等が連携して構築し、青森県内の高等教育環境の整備や地域に必要な人材育成等を推進。

【静岡】（公社）ふじのくに地域・大学コンソーシアム

- ・公益社団法人（ふじのくに地域・大学コンソーシアム）内に地域構想推進会議を整備し、地域内の人材需要等の調査や地域高等教育ビジョンの策定等を推進。
- ・**高校改革先導拠点への伴走支援や企業課題解決型PBLの実装等**の取組を通じて、人材循環エコシステムを構築。

【愛媛】えひめ地域構想推進プラットフォーム（仮称）

- ・県内全ての大学・短大に加え、**専修学校団体も参画する全県型のPFを構築。**
- ・EBPMによる人材需給の分析部門と、**地域の産業クラスターである造船・紙・水産業を始めとする産業分野や、地域の社会基盤を支える医療・看護・福祉分野など**地域に必要な人材育成部門が有機的に連携し、PFに参画する産官学民と協働して愛媛県内の持続・発展に向けた人材育成を推進。



「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業

令和8年度予算額

別紙 3

7億円
(新規)



● 背景・課題

- 急速な少子化が進行する中、学生募集停止が相次ぐなど地域の高等教育機関に困難が生じており、地元進学希望者の高等教育機会の確保や、地域の生活・産業基盤等に大きな影響が生じる恐れ。
- このため、2040年の社会を見据え、各地域の高等教育を取り巻く状況や課題、将来の人材需要等を共通認識し、地域関係者と一体となって具体的な取組につなげることが必要。
- 地域の高等教育機関単独での取組には限界があり、**地域にとって真に必要な魅力ある高等教育機関へのアクセス確保**のため、**各地域の大学間・産学官金等間の連携推進方策**を講じる必要。

- 大学進学者数推計
(2024年) 約63万人⇒**2040年には約3割減少**
- 大学進学時の都道府県別流入・流出者
⇒ (2024年) **38道県で流出超過**
(出典) 文部科学省調べ
- 若い世代が出身地域を離れた理由
⇒ 男女ともに、**「希望する進学先が少なかったから」が最多の理由** (出典) 内閣府調べ

2040年の社会を見据えつつ、地域の高等教育機関へのアクセス確保・人材育成を推進するため、各地域の施策展開に資するプラットフォームのモデル構築を実施

◆ 事業内容

- 地域の人材需給等を踏まえた高等教育機関における人材育成のあり方などについて、地域内の高等教育機関の長と地方公共団体の首長をはじめとした産学官金等の関係者が主体的かつ継続的に議論を行う協議体（地域構想推進プラットフォーム）を構築。
- 議論を行う協議体に配置される大学間・産学官連携の推進役となるコーディネーターを中心に、各地域の魅力ある高等教育機関づくりに関する取組を推進。

- 採択事業の参画機関（高等教育機関、地方公共団体等）と、文部科学省をはじめとする関係省庁との定期的な対話の機会を設け、モデル構築に向けた強力な伴走支援を実施。

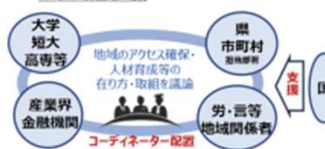
【事業期間】3年（令和8年度～令和10年度）

【件数・単価】10件×7,000万円程度

※モデル構築という性質を踏まえ、採択に当たっては事例の多様性についても考慮。

地域構想推進プラットフォーム

- 地域の将来ビジョンや大学等の研究・教育の構想・推進策を地域全体で情報共有・共通認識
- 大学等、地方公共団体、産業界等の地域関係者が一体となり、国と連携しながら地域のアクセス確保等の取組を支援



アウトプット（活動目標）

- モデル事業の採択数

短期アウトカム（成果目標）

- 目標値に達したKPI数/採択事業ごとに設定した全てのKPI目標数

長期アウトカム（成果目標）

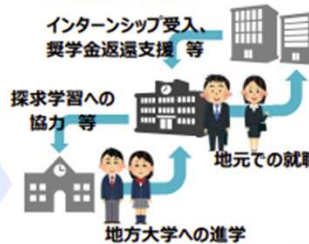
- PFでの議論を踏まえて、地域アクセス確保や、地域において必要な人材育成に向けた取組を行う大学の数

【プラットフォームでの議論を踏まえ期待される取組例】

- 地域の人材需給や産業構造のニーズ等や、高校教育改革と連動した教育組織・カリキュラムの変革



- 高校段階から地域の高等教育機関への接続強化や、自治体等による就職支援等を通じた地域への人材定着の強化



- 地元企業や金融機関、大学のリソース等を結集し、地域の強みを生かした新産業の創出



- 連携開設科目の設置にとどまらない、地域アクセス確保のための更なる教育研究の連携の実施



(担当：高等教育局大学振興課地域大学振興室)

事業の概念図

ユース参画で創る地域未来・産学官金言連携による「おかやま地域未来共創プラットフォーム」の完全自走化モデル構築

既存の協議体を再構築し、新法人「OLIVE」を中核とした実践的なアクションタンクを創設。協議と実装の「死の谷」を共架し、産学官金言一帯となり高校改革、大学間連携、リスキリング・採用支援までを一気通貫で実行し、予測不能な時代を生き抜くダイナミック・ローカルエコシステムを確立する。

岡山県が抱える課題

量の課題 (深刻な若者の県外流出)

- ・ 20代前半転出超過が深刻
- ・ 高校生県内就職率低下 (86%⇒80%)
- ・ 首都圏に進学した学生の低いUターン率
- ・ 県北・南西部における教育機会の減少とエッセンシャル人材枯渇リスク
- ・ 理系・IT等の高度専門人材の受け皿となる、魅力的な就職先(成長産業)の不足

質の課題 (人材需給ギャップの拡大)

- ・ AI・自動化等による文系事務職余剰(約5.6万人の余剰予測)
- ・ 地域産業を担うAI・高度専門人材の不足(約5.5万人の不足予測)
- ・ エッセンシャルワーカー(医療・福祉・介護等)有効求人倍率高止まり
- ・ リスキリングによる労働移動の停滞

場の課題 (協議と実装の「死の谷」)

- ・ 既存の協議体が「話し合い」に留まり、具体的な取組・社会実装に至らない
- ・ 協議結果を現場へ落とし込む実行部隊(アクションタンク)の欠如
- ・ 属人的な連携に依存しており、持続的なコーディネート体制が組織化されていない

おかやま未来創生ユース会議(ユースボード) 高校生・大学生・若手起業家・若手社会人



未来を担う「当事者」と運動

「おかやま地域未来共創プラットフォーム」 事務局：一般社団法人おかやま地域未来共創機構(設立準備中) データ駆動型ダッシュボードによるダイナミックな軌道修正

[取組1] 高校改革と連動した大学・大学院の一体的な改革

- 高校改革(文理融合・STEAM教育等)と連動した大学・大学院グランドデザイン策定
- 高校への大学メンター派遣、先取履修(AP)、STEAM教育による文理分断解消、地域アクセス確保、広域連携でのオンライン座学・オフライン演習によるハイブリッド型教育

[取組2] 2040年の社会を見据えた産学官金言連携による次世代人材育成

- 重点分野における高度次世代人材・アドバンストエッセンシャルワーカーの育成
- ものづくり、フードテック等の地域産業クラスター分野候補等のワーキンググループ設置による高度DX・GX・AX人材の育成、保健・福祉・保育分野を中心とした専門学校等との連携によるアドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成

[取組3] 成長分野への労働稼働を促すリスキリングと実践型教員FD/SD

- 成長分野への労働移動を促すリスキリングと教員FD/SD
- 岡山県立大「ハレリカ」を基軸とした階層別リスキリングカリキュラム構築、首都圏との越境学習型リスキリングプログラムの実装、リスキリング成果と人事評価制度・ジョブ型雇用との連動、現場実践による教員SD/FD、

[取組4] 「人材育成と人材活用」を直結させる完全自走化モデルの構築

- 有料会員制度とリクルート支援パッケージ化・効果的な広報戦略
- 保護者・学生・企業に向けた立体的なプロモーションの実行、大学発スタートアップと連携した超広域リクルート支援パッケージ、既存産学連携コミュニティのプラットフォームへの統合・有料会員制への移行等による完全自走化モデル構築

中長期アウトカム(2040年)

ローカルエコシステム
完全自走化
(地域構想推進プラットフォームの確立)

産業のレジリエンス強化と持続的な賃上げ

- ・ DX・GX・AX実装による、現場産業の労働生産性と付加価値の最大化
- ・ 企業の利益が働き手に還元される好循環の構築(人手不足による地域崩壊の阻止)
- ・ 現場でテクノロジーを使いこなす「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」の定着

- ・ 企業からの会費等を次世代育成の原資に還元する、国費に依存しない自立運営モデルの確立
- ・ 産学官金の利害調整と社会実装を一元化する中核組織(OLIVE)の本格稼働
- ・ 人材需給ギャップデータダッシュボード等を活用した、リアルタイムな軌道修正(アジャイル型PDCA)の定着

高度人材の
定着・還流の加速

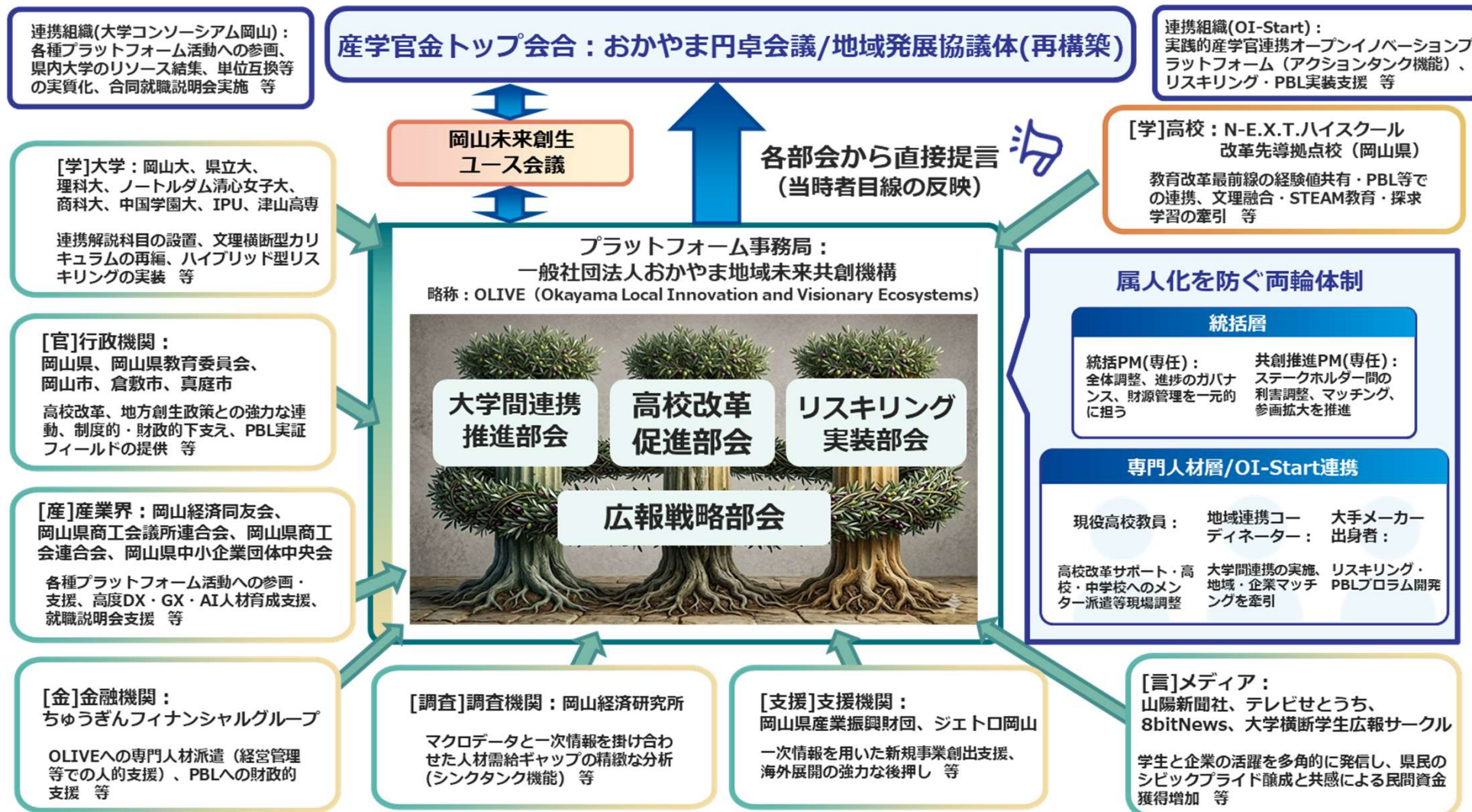
- ・ 重点分野(地域産業クラスター分野)の県内就職率の向上(60%台の達成)
- ・ 「越境リスキリング」等による首都圏からのUターン(中核人材の還流)ルート確立
- ・ 実践的PBL拡大、メディア戦略を通じた「岡山で最先端の挑戦ができる」シビックプライドの醸成

知の総和向上

- ・ 高等教育機関へのアクセス確保
- ・ 県内高校・大学の教育改革(文理横断カリキュラム・組織改編等)の実行率100%

本事業において構築するプラットフォームの体制図

既存組織（おかやま円卓会議・地域発展協議体）の再構築と新プラットフォーム体制



岡山県が直面する3つの複合課題



量 | 若者流出

- 高校→大学進学者 約9,300人のうち **約5,400人**が県外へ
- 県外進学者の県内リターン就職わずか **31.4%**
- 大卒者の県内就職率 **40.8%** (他県出身 **約17%**)



質 | 人材ミスマッチ

- 製造業・保健衛生でDX/AX化が急務
- 2040年：文系人材 **約5.6万人**余剰
- 2040年：AI・ロボット専門職 **約5.5万人**不足



地 | アクセス偏在

- 県北部・南西部で高等教育機関へのアクセス課題
- エッセンシャルワーカーが県南東部に集中
- 地域のエッセンシャル人材枯渇リスク

複合課題

未来担い手である「ユース参画」で取組を推進

⚠ 課題

- ・量・質・地理の3つの複合課題
- ・協議と実装を隔てる「死の谷」



ユースボード直結
リバースメンタリング

ユース
参画

解決策 — 推進エンジン

- ・一般社団法人OLIVEを新設し
実働部隊・事務局を担う
- ・機能別3部会（大学間連携・
リスキリング・高校改革）
- ・横断的「広報戦略部会」を
常設



★ アウトカム

- ・初等中等～社会人まで
切れ目のない人材育成
- ・産業の動的組み換えを
可能にするダイナミッ
ク・ローカルエコシス
テム

ユースボードイメージ



4つの柱、取組の全体像と相互連関

01

高校・大学改革 ×
ハイブリッド教育

対象：高校生・大学生（小中含む） | KPI：連携開設科目 10科目
単位互換・メンター派遣・STEAM/探究 / N-E.X.T.拠点校・津山高専

02

高度DX・GX・AX人材と
起業家の輩出

対象：高度専門人材・エッセンシャルワーカー | KPI：実践的PBL 年50件
OI-Start WG・サテライトPBL・文理横断カリキュラム

03

リスキリングと越境学習

対象：経営層～現場層・教職員 | KPI：250社導入
階層別リスキリング・越境学習・FD/SD / ハレリカ・OU-BRIDGE

04

完全自走化モデル
(有料会員制・リクルート支援)

対象：地域企業・大都市圏人材 | KPI：自走財源 3,000万円/年
有料会員制度・ABABA連携・超広域リクルートパッケージ



小学校→中学校→高校→大学→産業界→大学 の好循環サイクル

取組01・02 教育改革と高度人材輩出

取組 01 | 高校改革と連動した大学改革

- N-E.X.T.ハイスクール拠点校へ大学教員・学生メンターを派遣
- 高校生の大学授業を正規単位・AP（先取り履修）として認定
- 津山高専「つやまSTEAM人材育成塾」との連携
- 文系小学校教員向け CST養成プログラム展開
- 地域アクセス確保特例：理論＝オンライン、実践＝PBLのハイブリッド教育
- 大都市圏学生を地域企業PBLへ招く「国内留学プログラム」

大学・高専
教員・学生メンター →  → 小・中・高校
N-E.X.T.拠点校

取組 02 | 高度DX・GX・AX人材と起業家輩出

- ものづくり企業向け：AI利活用・ロボット制御専門人材育成
- 真庭サテライトキャンパス：林業スマート化・GX人材育成PBL
- 文科省「INSIGHT事業」等の学術拠点との連携
- 津山高専と共にAKATSUKIプロジェクト参画→起業家教育高度化高度化

CFP Nexus WG

Well-being WG

AI利活用WG

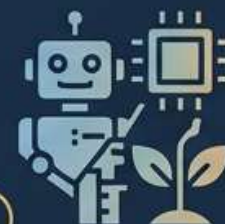
ロボティクスWG

フードテックWG

コンテンツWG

コンテンツWG

サイバーセキュリティWG



取組03・04 リスキリング × 完全自走化モデル

取組 03 | リスキリングと越境学習

- 県立大「ハレリカ」を基軸にリスキリング科目トフォーム全体へ
- 階層別最適化：経営層＝DX・GX・AI経営戦略／現場層＝AI活用
- 首都圏向け「越境学習型リスキリング」→社会人研究員制度→UIターン転職へ接続
- リバースメンタリング型 FD/SD の内製化



取組 04 | 完全自走化モデル

- 研究協力会×OI-Start事務局をOLIVEへ統合→法人向け有料会員制度へ移行
- ABABA連携→「超広域リクルート支援パッケージ」（選考評価・推薦込み）
- 大都市圏での最終選考敗退者（岡山ゆかり）を県内企業が逆求人スカウト
- 明確なROIを武器に「地元企業収益→次世代人材育成流」完全自走モデル確立



自走財源 **3,000**万円/年

ダイナミック・ローカルエコシステム 2040 岡山モデル



小学校→中学校→高校→大学→産業界→リスキング→再投資 の好循環サイクル

THE OKAYAMA WE WILL CREATE — 2040

未来を待つのではなく、 私たちが創る 若者が「挑戦するなら岡山」と選ぶ未来へ



INFLOW

人口流出からタレント・
インフローへの大転換



RESILIENT ECONOMY

伝統産業のスマート化と
次世代産業が共存する強靱な経済



WELL-BEING

学ぶ・働く・生きるがシームレスに
循環するウェルビーイング先進地域

【本件問い合わせ先】岡山大学 研究・イノベーション共創管理統括部 産学連携課
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学津島キャンパス 本部棟
TEL：086-251-8466 E-mail：co-creation@adm.okayama-u.ac.jp